

No.13 ハンドボール

Japan
Handball
Association



- 社会人
- 学生
- 高専
- 高体連
- 中体連
- 小学生
- 県協会

- 全国大会
- ブロック大会
- 都道府県大会
- 地区大会

- 男子
- 女子

試合
番号

鹿本-女42

年月日 2019年8月7日(水)
大会名 令和元年度全国高等学校総合体育大会ハンドボール競技大会

公 式 記 録 用 紙

A	四天王寺高等学校										県立那覇西高等学校										B
都道府県		熊本県		市町村		山鹿市		会場		山鹿市鹿本体育館								団体		準々決勝	
前半	A	B	最終結果	A	B	第1延長	A	B	第2延長	A	B	7m20-コラット	A	B							
	17	13	22	23																	
7m得点/総数	A		チームタイムアウト		B		チームタイムアウト		B		7m得点/総数										
	0/0		1	2 後半	3	1	2 後半	3	0/0												
			1047	2454		2350	2922														

No.	四天王寺高等学校	G	W	2'	2'	D	DR	No.	県立那覇西高等学校	G	W	2'	2'	D	DR
1	戎 菜美子							1	比嘉 楓						
6	小林 実杜							3	外間 希衣菜						
13	笠松 もも	4						4	久場川 かりん	3					
14	加納 穂伽	1						6	宮里 磨帆	3					
15	川尻 琉永	7						7 C	金城 有華						
17	西川 千華	2						8	東江 優希						
18	坂口 菜奈							9	喜納 歩菜	8					
19	田中 翔子	1						10	仲真 愛賀						
20	福富 萌由	1						11	砂川 菜穂						
21 C	和田 薫	4						12	仲宗根 鈴珠						
22	一ノ宮 萌							13	上地 汐杏蘭	5					
23	高橋 愛佳							15	宮城 奈月	2					
25	濱口 まお							18	金城 菜々子	2					
30	喜田 ことみ	2						20	山田 くれあ						
役員A	白鳥 貴子							役員A	比嘉 律						
役員B	市来 未央							役員B	新垣 健						
役員C	乙井 千緩							役員C	与那嶺 直樹						
役員D								役員D							

A	白鳥 貴子	チーム役員A署名	B

レフェリー	永春 文義	安田 寛	
TD	西浦 伸一	長谷 隆夫	
MO	本田 眞吾		

得点(G), 警告(W), 退場(2), 失格(D), 報告書付き失格(DR) 特記事項に報告書として内容を記入

No.11 ハンドボール

令和元年度全国高等学校総合体育大会
高松宮記念杯第70回全日本高等学校ハンドボール選手権大会

戦評

開催日	2019年 8月 7日 水曜
会場	山鹿市鹿本体育館
種別	女子
回戦	準々決勝

スコア	チーム名	総得点	前半	総得点	チーム名
		四天王寺	22	17-13	23
	第1延長		後半		
	—		5-10		
	—		第2延長		7MC
	—		—		—
	—		—		—

※第1延長・第2延長及び7MCの得点は総得点に加算してください。

戦評	前半
	<p>那覇西のスローオフで試合開始。四天王寺は、6-0ディフェンス。立ち上がり、那覇西喜納のミドルシュートで先制する。すぐさま四天王寺笠松のミドルシュートで追いつく。四天王寺は、和田・笠松の速攻、川尻の3連続のサイドシュートで10分過ぎ7対3で流れをつかむ。那覇西は、上地・久場川・宮里の3連続得点で7対6と追い上げる。中盤那覇西、喜納・上地のゴールで8対8の同点に追いつくが、四天王寺も福富・川尻・加納の3連続ゴールで11対8と突き放す。23分過ぎ、四天王寺・喜田の速攻が決まり、14対11とされたところで那覇西はタイムアウトを申請。終盤、那覇西・上地のカットイン・速攻、喜納のミドルシュートで粘るが、17対13で四天王寺がリードして折り返す。</p>
後半	
<p>立ち上がり、四天王寺は笠松の速攻で2連続得点。那覇西も喜納・久場川のミドルで点差は4点のままゲームは進む。11分、19対16でリードしている四天王寺がタイムアウトを申請。双方よく走るが、那覇西は速さ、四天王寺は力強さが感じられる速攻を繰り広げる。中盤を過ぎて20対17とゲームは拮抗するが、19分過ぎ那覇西の連続得点で20対19と一点差に詰め寄る。四天王寺は那覇西の喜納にマンツーマンを仕掛けるが、那覇西・積極的なディフェンスで応戦、宮城の速攻でついに20対20の同点に迫り着く。残り5分、宮里の速攻が決まり、21対20の逆転に成功したところで、四天王寺は2回目のタイムアウトを申請。宮里のサイドシュートが決まり2点差をつけられたところで四天王寺は3-2-1ディフェンスで勝負に出る。残り1分、四天王寺GK戎のファインセーブから西川の速攻が決まり1点差となり、那覇西はタイムアウトを申請。直後に、那覇西の金城のサイドシュートが決まり、四天王寺も川尻のポストシュートを返したが、23対22で準決勝進出を決めた。</p>	

記入者 牧 均